

本誌規定

發行日

每月一回 三日

定價

一册送料共金拾八錢、三册金五十二錢、六册金一圓、十册金一圓六十錢、見本一册郵券にて金拾錢但號數の指定に應ぜず

會友

一時に金拾五圓以上を拂込むものには本會々友として日本水彩畫會々友と同一の待遇を與へ永久本誌の無料配布を受くる事を得

送金

前金のほか一切送本せず○前金切の時は包紙に注意すべし○代金拂込は振替貯金を望む但一回毎に必ず登記料金二錢を拂込に加ふべし 本會振替貯金口座番號東京六九六三番○郵便爲替拂渡局は必ず東京小石川小日向水道町郵便局○郵券代用は一册二十錢の割

注意

代金の受取證を要するものは返信料を送れ○住所姓名を明記されたし○注文の際は第何號よりと明記されたし 御照會を請ふ○切前月十日

廣告料

明治三十八年六月二十九日內務省許可  
明治四十二年十月廿五日印  
明治四十二年十一月三日發行

(第五十六)

す

●日本水彩畫會研究所安中支部は群馬縣安中町根岸方にて毎月一回授業すべし、講師は河合新藏、丸山晚霞兩氏にして専ら戶外寫生をなす

●日本水彩畫會研究所横濱支部は神奈川縣程ヶ谷小學校内にあり、授業は毎月第一第三日曜日にして講師は大下藤次郎氏なり、講話及戶外寫生をなす

●日本水彩畫會研究所長野支部は長野市師範學校内にあり、毎月一回研究會を開き、年數回講師出張指導すべし

●日本水彩畫會研究所には地方講習生の設あり、丸山晚霞氏主として通信授業をなす

不許複製

編輯兼發行人 大下 藤次郎  
東京市小石川區關口駒井町三番地

印刷 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 藤本 兼吉

印刷 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社 秀英舎 第一工場

發行所 東京市小石川區關口駒井町三番地 會